



日本共産党 長崎市議会議員

中西あつのぶ市政報告 活動ニュース VOL. 8

何でも無料生活相談実施中

E-mail:nakanishi@jcp-n.com

携帯電話：090-4909-3530

LINE公式のチャットもご利用ください



LINE公式



X



@ATSUNOBU_NAKANISHI

ご意見、ご要望
お寄せください。



6月
市議会

6月市議会が6月9日から26日まで開かれ、私は本会議一般質問に登壇し、物価高対策やいじめ防止対策、学校体育館への空調整備など市民の声を届けました。総務委員会では、公共施設の使用料や住民票などの手数料の見直しについて受益者負担による見直しの中止を求めました。

前
進

○学校体育館へのエアコン設置

教育長「できるだけ早急に対応していく」

◆**中西議員** 昨年、7月8月に県内で暑さ指数33を超えた日数は51日間にのぼり、学校では体育の授業や部活動など、屋内外での活動を中止せざるをえない事態が起きている。全国各地で避難所となった学校体育館の暑さ対策が大きな課題となっている。

3月、国から今後10年間で避難所指定されている学校体育館の空調整備をすすめる方針が示された。本市においても**学校の体育館への冷房化は待ったなしの課題**ととらえて、すみやかに取り組んでいく必要があるのではないかと。

◆**西本教育長** 気温上昇に伴う熱中症リスクの高まりなどから**学校体育館への空調設備について必要性を認識**している。長崎市では現在、整備費用や維持管理費用の比較検討導入方式についてのメリット・デメリット、設置するとした場合の優先順位などについての精査を進めている。

できるだけ早急に対応していくことが望ましいと考えているが、単年度で整備することは困難であり、年次的な計画の検討をしている。子どもたちの教育環境の改善や災害時における避難所機能の強化といった観点から関係部局とも連携し引き続き検討を進めていきたい。



Youtube



○物価高騰対策

市としてお米券の配布を！ 国に対して消費税減税を求めるべき

◆**中西議員** 物価高騰が深刻で、「年金だけではやっていけない」「食べ盛りのこどもに十分な栄養をとらせてあげられずつらい」「おコメは毎日たべるので高くて困る」など、すべての世代で生活不安が広がっている。

市政運営にとって一番重要なことは市民の暮らしを守ることであり、出口の見えない不安を取り除くこと。夏の水道料金の無料化や物価高騰に見合う賃上げが中小企業にも広がるよう公契約条例の制定などが必要ではないかと。

とりわけ、米価高騰は深刻であり、低所得者やひとり親世帯、子ども食堂に対して全国共通お米券を届けて支援する考えはないか伺いたい。

国に対して消費税減税を求めるべきではないかと。

◆**鈴木市長** お米券の配布は支援として一定の効果が期待できる一方で、財源や支援対象者の範囲など検討すべき課題もあり市単独で実施することは難しい。

物価高騰は市民生活に大きな影響を与えるものであり、物価の動向や市民生活の実態などを注視しながら国に対して必要な財政措置を要望するなどしっかりと対応していく。

◆**財務部長** 消費税は重要な社会保障財源。国において慎重に検討していただきたいと考えている。

●**中西議員** いじめは、人権侵害であり、暴力。子どもどうしの問題と軽くみるのではなく学校で起きている虐待ととらえるべき。文部科学省は昨年8月、いじめの重大事態の調査に関するガイドラインを改訂したが、改訂の背景として「重大事態の発生件数は増加傾向となり、依然としていじめ防止基本法や基本方針、ガイドライン等に沿った対応ができていなかったために、児童生徒に深刻な被害を与える事態が発生している」ことを挙げている。

本市でも、まさにそのようなケースが発生しており、原因究明と再発防止が必要。ガイドライン改訂を踏まえて、本市のいじめ防止基本方針を見直し、いじめ対応の改善をはかるべきではないか。

◆**西本教育長** いじめは人間として絶対に許せないこと、いじめはどの子どもにもどの学校にも起こりうるものと認識し、いじめ問題への対応は学校における最重要課題の1つと捉え、いじめの防止やいじめの早期発見、早期対応に務めている。

できる限り公平性中立性を確保する調査組織とするなどいじめ防止対策のさらなる強化を図り、いじめから子どもの命や心を守るものとなるよう長崎市いじめ防止基本方針の見直しを早期に行っていきたい。



●**中西議員** 鳴見台小学校では(児童数の増加から)教室が足りなくなる恐れがあり、特別支援学級の教室をパーテーションで間仕切りする対応も選択肢の1つとして検討されているが、そういう対応は学ぶ環境として適切とは言えず、きちんとした教室を確保する必要があるのではないかと。

同校では、(要望しているものの未設置となっている)通級指導教室の場所の確保も課題となっている。児童の教育環境をしっかりと整備し、保護者や学校現場が不安にならない対応を要望する。

◆**西本教育長** 一時的な教室数の増加に対応する際には、既存の特別支援学級の教室内に間仕切りを設置し2つに区切ることや共有スペースを教室として使用できる状態に改修するなどの対応を行っている。一方で、近隣に住宅が大きく増加したことなどにより地域の児童生数が増える場合は、長期的な見通しが立つことから教室が不足すると見込んだ期間において仮校舎を賃貸借することで対応を図っている。



(鳴見台小を視察する中西市議)

＼使用料・手数料の引き上げ 反対！／

長崎市はいま、公共施設の使用料や住民票などの手数料を**受益者負担の原則**とした見直しの検討を進めています。

住民票の手数料は現行300円を400円に(コンビニ交付は200円に据え置き)、グラバー園(現行620円→1300円)やペンギン水族館(520円→800円)をはじめ、原爆資料館などを除く80施設以上の利用料金が上がり、推定5億円以上の市民負担増が見込まれます。

しかも、子どもや高齢者には現在、減免がありますが、これを原則廃止し、60歳以上の市民が対象の**老人福祉カード(いきいきカード)**による**使用料減免も廃止**されます。

中西市議は閉会中審査で、市民や利用者、指定管理者の意見を聞くべき、原価の計算や受益者負担の割合設定の仕方が乱暴で市民負担が大きすぎる、**年齢減免は存続すべき**と指摘しました。

公共施設は市民全体の財産です。使用料は、誰もが負担なく利用できるよう低廉な金額であるべきです。

住民サービスを受けるのを「益」とみなす新自由主義の考えに立ち、**福祉の心を投げ出す見直し**は中止すべきです。使用料・手数料の見直しに関わる条例改正案は9月議会に上程されます。反対の声を広げて行きましょう。



このカードは「老人福祉カード」です。老人福祉センター・老人憩の家等をご利用の際は、このカードを提示してください。また、このカードを提示すると長崎市の次の施設へ無料又は半額等で入場できます(特別展示等別途料金が必要なものを除く)。なお、このカードは本人以外の利用はできません。

(無料施設) 原爆資料館、グラバー園、ペンギン水族館、須加五々道美術館、ベッ甲工芸館、古写真資料館、埋蔵資料館、野口彌太郎記念美術館、出島、シーボルト記念館、永井隆記念館、遠藤周作文学館、清水寛展示館、端島見学施設、亀山社中記念館、心田庵
(半額施設) ロープウェイ、稲佐山スロープカー
(減額施設) 旧香港上海銀行長崎支店記念館 300円→200円